

広報

No.2578

ITABASHI

6.10

令和5年・2023年

特集版

発行/板橋区 編集/広聴広報課 〒173-8501 板橋区板橋2-66-1 FAX 3579-2028(広聴広報課) <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/> 区役所代表 ☎ 3964-1111

万全ですか? 風水害への備え

令和元年台風第19号で増水した荒川(舟渡付近)
画像提供: 国土交通省荒川下流河川事務所

備えていますか?

台風・豪雨などによる風水害への対策



近年、局地的・短時間に多量の雨が降る集中豪雨や大型台風による、河川の氾濫・道路冠水・浸水被害が多く発生しています。風水害から自分や家族の身を守るため、日頃から対策をとりましょう。



風水害の種類を知っておきましょう

問合せ 防災危機管理課危機管理係 ☎3579-2154

風水害とは、雨や風により発生する災害です。区で起こりやすい風水害を知っておきましょう。

内水氾濫……ゲリラ豪雨など短時間の大雨(1時間あたり50mm以上)で、下水管の処理能力を超えてあふれる洪水のこと



土砂災害……地中にしみ込んだ雨水によって、急な斜面が突然くずれ落ちること

高潮……台風などの気圧低下による吸い上げ効果と、強風による吹き寄せ効果で海面が高くなり、堤防を越えて川の水があふれること

日頃から備えましょう

問合せ 防災危機管理課危機管理係 ☎3579-2154

風水害に備え、区民のみなさんが家庭でできる主な防災対策を紹介します。

ハザードマップを確認



自宅が浸水想定区域や土砂災害警戒区域に入っていないか確認しましょう。また、ハザードマップで自宅から近い避難所と、避難所までのルートを確認しましょう。

▶問=防災危機管理課計画推進係☎3579-2159

備蓄をする

家庭で用意しておくもの

各家庭で食料などを可能な限り7日以上備蓄しておきましょう。

- 飲料水(目安:1人1日あたり3ℓ)
- 非常食(1人1日あたり3食分)
- 携帯トイレ(目安:1人1日あたり5回分)
- 生活用品(マスク・懐中電灯・カセットコンロ・ライター・携帯ラジオ・ティッシュ・ビニール袋・乾電池など)



非常用持ち出し袋

- 飲料水・非常食(最低限3日分)
- 貴重品(現金・通帳など)
- 生活用品(タオル・携帯ラジオ・懐中電灯・乾電池・ビニールシートなど)
- 衣類(下着・着替え・雨具など)
- 救急用品(常備薬・消毒液など)



▶問=地域防災支援課地域支援係☎3579-2152

マイ・タイムラインを作る

マイ・タイムラインとは、風水害の発生に備えてあらかじめ決めておく自分の避難計画のことです。「東京マイ・タイムライン」を使って、避難に必要な知識を習得しながら、適切な避難行動を整理してみましょう。

▶問=地域防災支援課地域支援係☎3579-2152

防災情報の収集方法

板橋区防災メール

気象庁が発表する各種気象情報、区で観測する雨量・河川水位情報、区からの緊急なお知らせなどを電子メールで配信します。



Yahoo! 防災速報アプリ

区が配信する避難所開設情報や、防災に関する緊急情報などを受け取ることができる無料アプリです。



板橋区防災マップアプリ

インターネットに接続できない状態でも、板橋区防災マップを閲覧することができる無料アプリです。



【いずれも】

※通信料が発生します。

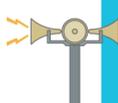
テレビ

NHK総合テレビ・J:COMチャンネルなどで、災害関連情報を確認できます。



防災行政無線

区内165か所に設置してあるスピーカーで災害情報などを放送します。放送を聞き取れなかった場合は、24時間以内に放送されたものの最新20件の内容が電話(☎0120-357-411)で確認できます。



緊急速報メール(エリアメール)

台風などの緊急時に、区からのお知らせ、気象庁が配信する大雨特別警報などが、災害発生の際のあるエリア内全ての携帯電話・スマートフォンに一斉配信されます。※登録不要



災害用伝言ダイヤル

電話(☎171)で伝言を残すことができます。災害が発生する前に、家族と伝言のルールを決めておきましょう。



避難行動を確認しましょう

問合せ 地域防災支援課地域防災係 ☎3579-2151

「いる場所」と「その時の状況」で避難行動は変わります。日頃から避難先・取るべき行動を確認・検討しておきましょう。

警戒レベル3以上で早めの避難を!

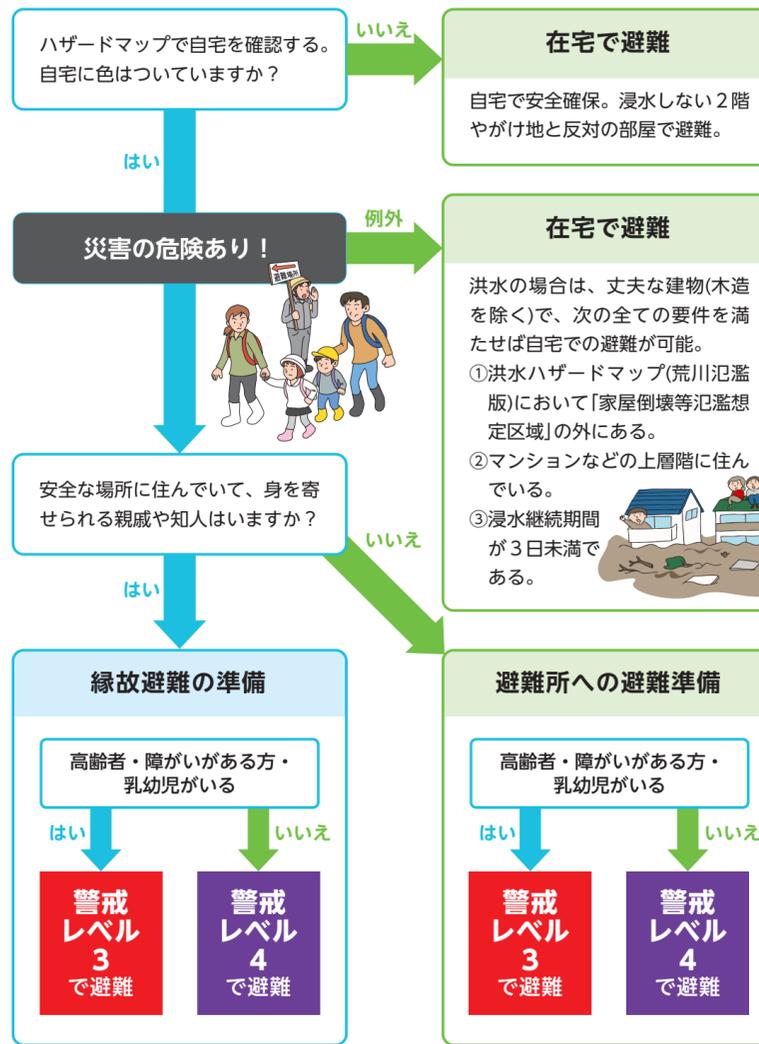
警戒レベル	区が発令する避難情報	とるべき行動
5	緊急安全確保	命の危機 直ちに安全確保
——警戒レベル4までに必ず避難——		
4	避難指示	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	高齢者などは、早めの避難を開始
2	洪水注意報 大雨注意報	ハザードマップなどで避難行動を確認
1	早期注意情報	最新情報に注意し、災害の心構えを高める

※地震の場合、警戒レベルは発令されません。

- 避難とは「難」を避けること、安全を確保することです。安全な場所にいる人は避難する必要はありません。
- 危険な場所から、警戒レベル3で高齢者などは避難、警戒レベル4で全員避難です。
- 警戒レベル5でまだ避難できていない場合は、自宅の安全な部屋に移動するなど、直ちに身の安全を確保しましょう。
- 豪雨時の屋外避難は危険です。早めの避難を心がけましょう。



避難行動判定フロー(洪水・土砂災害)



避難する時の注意点

危険な場所には近づかない
洪水時や川の水位が高いときは、絶対に川に近づいたり橋を渡ったりしないようにしましょう。

冠水している道路は危険
マンホールや側溝のふたが外れている場合があります。やむを得ず移動するときは、傘などで地面を探りながら移動しましょう。

車での避難は避けて
車での避難は緊急通行車両の通行の妨げになります。また、交通渋滞の原因となるほか、浸水すると動けなくなるので、特別な場合以外は徒歩で避難しましょう。



ペット同行避難

避難所にペットを連れて避難できますが、受け入れには次の条件があります。※居住空間にペットを入れることはできません。

受け入れるペットの種類
犬・猫・小鳥・その他の小動物(危険を及ぼさない動物など)

受け入れ条件

- ケージ・リードを用意する
- 餌・水などを用意し、餌やり・糞尿の始末は飼い主自身が行う
- 基本的なしつけ(無駄吠えしない、飼い主の指示に従うなど)ができています
- 犬は、狂犬病注射済票を持参する



風水害から自宅を守りましょう

問 合

防災危機管理課危機管理係
☎3579-2154

風水害による家屋の被害を抑えるために、日頃から点検・確認しましょう。

□ 屋根・雨どい

- 不安定なアンテナはありませんか
- 瓦のひび・割れ・はがれはありませんか
- 雨どいにごみや木の葉は溜まっていませんか

□ 窓ガラス

- 窓枠のがたつきはありませんか
- 雨戸のがたつきはありませんか

□ 外壁

- 壁に亀裂はありませんか

□ ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか

□ ブロック塀

- 傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか



□ 雨水ますの清掃

雨水ますのこまめな点検を心がけましょう。

□ 物を置かない

雨水ます・L形側溝の上に、車乗り入れブロックなどを置かないようにしましょう。



[いずれも]

▶問=南部土木サービスセンター工事調整係☎3579-2508、北部土木サービスセンター工事調整係☎5398-7333

止水板設置工事費用の助成

止水板は、住宅の出入口などに設置して、外部からの浸水を防ぐ装置です。※事前に申請が必要。詳しくは、お問い合わせください。

▶助成金額=費用の2分の1(上限50万円) ▶問=土木計画・交通安全課啓発・助成係☎3579-2297

水のう・土のうで 浸水被害を軽減しましょう

問 合

南部土木サービスセンター工事調整係☎3579-2508
北部土木サービスセンター工事調整係☎5398-7333

区内でも、過去にはトイレ・排水口などで水の逆流による浸水被害が発生しています。家庭内での水の逆流は、簡単に作れる「水のう」で防ぐことができます。また、家庭にあるものを上手に使うことで、玄関やベランダなどへの浸水も軽減できますので、いざという時のために覚えておくと安心です。

水のうで逆流防止!

水のうは下水道管からの逆流を抑える効果があります。ごみ袋に水を入れて縛るだけなので、簡単に作れます。詳しくは、区ホームページをご覧ください。



キッチン



トイレ



風呂場



洗濯機の排水口



玄関やベランダでの浸水対策



- ① 浸水を防ぎたい場所にブルーシートなどを敷き、水を入れたポリタンクや、水のうを入れた段ボール箱などを隙間なく置く
- ② 水に流されないよう、シートを外側から内側に向かって巻き込む

土のうの使い方を覚えましょう

YouTube区公式チャンネルで、土のうの使い方を配信しています。



土のうステーション

宅地への浸水被害を軽減するため、区内各所に土のうステーションを設置しています。設置場所など詳しくは、区ホームページをご覧ください。

▶問=南部土木サービスセンター地域連携係☎3579-2532、北部土木サービスセンター地域連携係☎5398-1259

